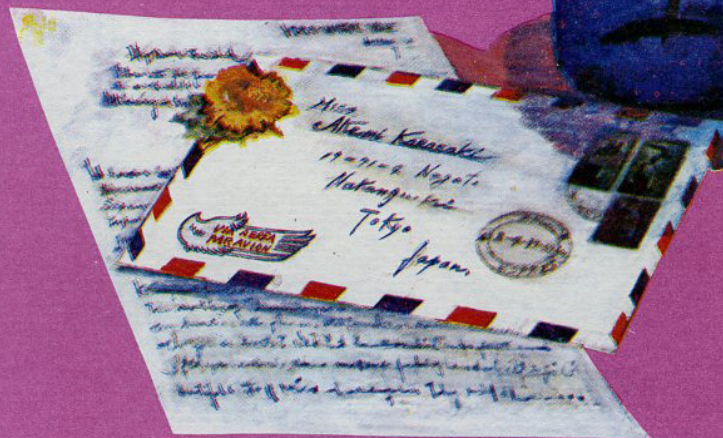


新よりの詩 友(ち)の詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1971年版

Akemi

新しい詩
友(友)の詩

日本作詩家協会 年刊詩謡集

1971年版

序に代えて

サトウハチロー

年刊詩集が今年も出る
うれしいことです。

仕事というものは、一度こっきりで、あと
つづかないのが一番いけません。

作詩家協会は、この年刊詩集をずっとつづ
けて出すのです。

大変な仕事ですが、みんなやりとげるとい
っているので、ボクは、よろこんでいます。

去年のより、今年の方が、詩の質がずっと
いいようです。力作があるんです。

この調子で進んだら、すごいのが二、三年
後には出るのではないでしょうか。

たのしみがあるということは、生きている
のに何よりの薬です。

(日本作詩家協会会長)

昭和四十六年初夏

もくじ

序に代えて……………	サトウハチロー……………	一
花は死の花……………	井田 誠……………	四
洞爺湖慕情……………	伊丹 将人……………	五
おんな任侠小唄……………	伊吹 とおる……………	六
つみ木の愛……………	飯塚 義美……………	七
誰も知らない……………	岩間 純……………	八
しあわせのカギ……………	岩崎 吉太郎……………	九
錆びた十字架……………	いわせ ひろし……………	二〇
根性太鼓……………	磯部 たけを……………	二一
さっしてね……………	猪股 泰彦……………	二二
夜のスナック……………	池上 信……………	二三
氷 雪……………	池田 充男……………	二四
酔いどれ子守唄……………	いけや かつとし……………	二五
女街 男街……………	石川 泰久……………	二六
かけ落ち……………	石本 美由起……………	二七
女の夜……………	はせべ ゆり……………	二八
愛がほしいの……………	長谷川 洋……………	二九
あなたへの旅……………	馬場 冬樹……………	三〇
ひとり言だと思って聞いてね……………	播 智行……………	三一

雪ん子ものがたり	八反	ふじを	三
いのち船	花木	みつる	三
うず潮育ち	林	秀夫	三
白鳥の住めない湖	はまだ	ゆきお	三
青島夜想曲	伴在	主計	三
花と妻の物語	二条	冬詩夫	三
それは昔の話です	仁木	としこ	三
風立ちぬ	西沢	爽	三
泪のマリア	細川	憲哉	三
哀しきは女のころ	星川	あゆみ	三
電話の子守唄	星野	哲郎	三
ゆきずりの愛	星合	節子	三
運命舟	本多	祈美男	三
時計は捨てて	本間	長三郎	三
祇園・木屋町・先斗町	本城	さとる	三
0の街	鳥羽	もと子	三
わかれ旅	遠山	武男	三
卒業の詩	道仙	邦紘	三
バンコク慕情	富山	紫峰	三
憎しいあ・な・た	わたなべ	ちかお	三
田楽むすめ	渡辺	真早登	三
とかく浮世と言うものは	加藤	省吾	三
風花の町	門井	八郎	三
残照	門田	ゆたか	三
花の義兄弟	かわうち	登	三

くそ度胸……………	川村	きよじ	吾
身の上ばなし……………	かねこ	ともじ	吾
青桐の歌……………	横井	弘	亮
死のファンタジー……………	吉川	静夫	亮
あなたなしでは……………	吉野	ひとし	亮
泪の部屋……………	たなか	ゆきお	亮
夜汽車の女……………	田畑	しげき	亮
雲に愛を……………	田村	和男	亮
女 雨……………	谷田	幸平	亮
こころのざわめき……………	高畑	和之	亮
エルムの街で……………	高月	ことば	亮
あなたが必要……………	高木	一男	亮
恋 時 計……………	高木	順子	亮
娘ざかりは紅の色……………	宅見	千香子	亮
秘め言葉……………	玉木	一史	亮
人生波乱……………	丹治	公彦	亮
愛の白鳥……………	相馬	日照	亮
風に感じるもの……………	土屋	紅	亮
思い出の リバーサイド……………	塚谷	清一	亮
女の仮面……………	筑紫	みなも	亮
お部屋に 鍵をかけないで……………	根岸	一男	亮
「やわら」の ブルース……………	成瀬	左千夫	亮
歳月が憎い……………	中司	雅子	亮
お小夜笠……………	中野	惣太郎	亮
迷い心……………	中野	芙美世	亮

恋 無 情……………	中山 かずとし……………	三
さすらいにつぼん……………	永井 ひろし……………	三
ちよい惚れ人生……………	水井 文雄……………	四
するんじゃなかった……………	長尾 文生……………	五
恋なんて……………	長野 晶水……………	六
恋かぶれ……………	渚 真砂子……………	七
なみだ色の朝……………	村上 みのる……………	八
いのちのねがい……………	村上 二永……………	九
別れのアンゲル……………	宇山 清太郎……………	一〇
黒いリーフ……………	内田 つとむ……………	一一
くらい淋しい詩……………	浦田 常治……………	一二
風の手紙……………	植田 竹雄……………	一三
そのままにしてね……………	梅田 幸三……………	一四
紅ばらお小夜……………	梅本 としお……………	一五
ネオン衣裳……………	宴 ゆり……………	一六
想い出は……………	野本 高平……………	一七
愛 鍵……………	能勢 英男……………	一八
ベトナムの……………	越智 としこ……………	一九
空青けれど……………	小野 津加佐……………	二〇
朝やけは……………	小口 幸重……………	二一
雨になるという……………	小黒 恵子……………	二二
男と女に捧げる唄……………	おいだ・みのと……………	二三
涙の分だけ愛されて……………	大橋 哲郎……………	二四
怒りの薔薇……………	大場 かんじ……………	二五
いやでせうろう……………	大渡 弘良……………	二六
オン・ザ・ロック……………		
煙の街から……………		
噂がほしい……………		

人生数え歌	大竹	敏雄	一〇七
雪かまくら	大村	主計	一〇八
涙の札幌	大久保	正弘	一〇九
星よ若者よ	大屋	哲夫	一一〇
若者の儀式	大沢	昭男	一一一
男の暖簾	岡田	壮三	一一二
ひざかけの歌	岡野	極	一一三
バレン子守唄	奥野	椰子夫	一一四
おんなの夜のブルース	荻原	秀夫	一一五
一の糸	久保	きみ代	一一六
夢よかえれよ	やまうち	亮	一一七
そしてそれから	やまもと	よしき	一一八
最後の手紙	山上	路夫	一二九
女はその手に弱いのよ	山田	佳泉	一三〇
女の生き甲斐	山田	晃義	一三一
ギターと旅びと	山田	世津夫	一三三
泣かないで母さん	山口	勝子	一三三
秋の渚	山口	洋子	一三四
霧積の宿	柳	英二	一三五
船場川	松井	由利夫	一三六
名もない花のように	松尾	幸雄	一三七
誠一筋	松岡	美勝	一三八
夏の終わりを	松浦	志津夫	一三九
あなたがその気なら	松崎	暎子	一四〇
あの娘を忘れない	松本	英祐	一四三

未練	松本 摂子	一三三
夜のモノリザ	牧 房雄	一三三
ジャニーはいない	古野 哲哉	一三四
時は流れるもの	ふじと・たかし	一三五
枯葉が窓に散る夜は	藤原 テルコ	一三六
女のカード	藤村 閑夫	一三七
うた二題	藤田 まさと	一三八
砂丘	藤間 哲郎	一四〇
愛の終わり	藤沢 ひろし	一四一
紀州の女	ごとう・としのぶ	一四三
町をきれいに	小林 とくさ	一四四
夕化粧	小林 金次郎	一四四
港おんな唄	小谷 健一	一四五
献身	小嶋 かずひろ	一四六
合掌	小島 高志	一四七
長崎はふるさと	五条 ユキシロ	一四八
そんな男は死ねばいい	越砂 温夫	一四九
美しき罪	海老沢 孝一	一五〇
愛の墓標	榎本 勝春	一五一
ダンプカー小唄	遠藤 英一	一五二
女の艶歌	吾妻 ゆきお	一五三
遅すぎたのね	青木 一大	一五四
雨やどりしたガード下	青木 三郎	一五五
男と女のいるかぎり	淡島 千佳夫	一五五
生と死のブルース	綾部 孝男	一五七

夜に咲く花	浅野	国雄	一五
夕陽の中を	秋田	泰治	一六
おんな顔 おとこ顔	芦田	しげる	一六
酔いどれ女のブルース	飛鳥井	芳朗	一六
なにもかもたったひとつ	サトウハチロー		一七
愛	さとう・ありひろ		一七
愛があっても	佐東	たどる	一八
お祭り近し	佐藤	まさみ	一八
大和の旅路	佐藤	木章	一九
徳利の唄	佐藤	豹一郎	一九
白い渚のワルツ	佐野	和子	二〇
緋牡丹恋歌	佐久間	常夫	二〇
愛の涙	佐々木	晶子	二〇
憂国の花	酒井	良之佑	二一
雪のファンタジー	酒井	鉄男	二二
檜とからすっ子	坂口	雅輝	二二
いまにみている	咲山	道雄	二四
消えない落書き	木村	二郎	二五
クライマックス	北町	しのぶ	二五
愛の償い	菊地	英夫	二七
花の遊侠伝	由起	しげみ	二八
誘惑	結城	たかし	二九
夕焼けのマリモ国道	夢	虹二	三〇
面影波止場	みずお	久巳夫	三〇
白浜の雨	みずの	稔	三一

失ったもの……………	三上	博司……………	一八三
この酒のつきるまで……………	三鷹	彰……………	一八四
おやじさんの子守唄……………	三宅	立美……………	一八五
あな た……………	三隈	まさあき……………	一八六
小鳥の歌になりたい……………	美山	鋭太郎……………	一八七
星がきれいに光るから……………	美須	史郎……………	一八八
おんなの手……………	道下	きく絵……………	一八九
恋の真菰船……………	峰田	明彦……………	一九〇
隠岐の島慕情……………	宮田	隆……………	一九一
逢いたくなるたびむずむず……………	宮中	雲子……………	一九二
涙のおばかさん……………	宮沢	守夫……………	一九三
風のない夕暮れ……………	水木	かおる……………	一九四
男 & 女……………	水紀	亜美……………	一九五
涙をふいてあきらめて……………	港	ひろし……………	一九六
女 と 女……………	南	咏子……………	一九七
女がなんだ……………	南沢	純三……………	一九八
幸せってこんな感じ……………	斯波	一絵……………	一九九
女のかなしみ……………	紫藤	孝……………	二〇〇
しあわせの切符……………	志賀	大介……………	二〇一
恋の落日……………	四賀	郷子……………	二〇二
霧 情……………	清水	みのる……………	二〇三
初恋ホタル……………	柴田	よしかず……………	二〇四
孤 独……………	柴山	かおり……………	二〇五
すすきの雨……………	鹿野	里美……………	二〇六
雪の別れ……………	白土	やすじ……………	二〇七

水郷慕情……………	篠原	鑑明……………	三〇八
恋はふしぎなりボン……………	島田	陽子……………	三〇九
思い出を砂に埋めて——……………	渋谷	郁夫……………	三一〇
風の通り路……………	渋谷	登磨……………	三一一
ふるさとバス……………	周東	敬二……………	三一二
かわいた砂がくずれるように……………	平井	健一……………	三一三
愛しすぎたの……………	平山	忠夫……………	三一四
忘れたいのに……………	森	めぐみ……………	三一五
夢・恋・夜……………	森	しげる……………	三一六
悲しい予感……………	森川	紀子……………	三一七
子消し……………	森山	としはる……………	三一八
郷愁……………	関口	義明……………	三一九
いぎりす旅情……………	関沢	新一……………	三二〇
榛名湖ブルース……………	須田	ひろし……………	三二一
D 51 人生……………	須沢	玄詩……………	三二三
哀歌の港……………	鈴木	崇子……………	三二三
燐けほっくに火がつくわ……………	鈴木	雅矢……………	三二四
にしん場小町……………	鈴木	哲郎……………	三二五
		(いろは順)	
あとがき……………	藤間	哲郎……………	三二六

題字 藤田まさと
装画 唐崎あけみ